

石綿（アスベスト）に関する見解書 （第5版）

目 次	
1.見解書について（石綿に関する情報のご案内）	1
2.当社設立以前に(株)クボタと松下電工(株)（現パナソニック電工(株)）において製造販売していた建材一覧（法規制を受ける商品、受けない商品）	1
2-1 屋根材	1
2-1-1 法規制を受ける屋根材	1
2-1-2 法規制を受けない屋根材	3
2-2 外壁材	4
2-2-1 法規制を受ける外壁材	4
2-2-2 法規制を受けない外壁材	5
2-3 補足	5
2-3-1 法規制対象となる石綿含有商品について	5
2-3-2 「無石綿」の表示を行っていた商品の「法規制を受ける商品」への見直しについて	5
2-3-3 「  」マークについて	5
3.石綿に関する基本知識	6
3-1 石綿の種類	6
3-2 石綿の健康に与える影響について	6
4.既設の石綿含有屋根材・外壁材の取扱いその他について	7
4-1 通常使用における経年劣化による石綿飛散について	7
4-2 非通常使用における石綿含有商品の解体、廃棄、取り扱いについて	8
5.アスベスト成形板の解体工事及び廃棄処分について	9
6.石綿に関する外部お問い合わせ先	10
6-1 行政の各種相談窓口（H17.7.15 厚生労働省労働基準局長 基発第07150002号による）	10
6-2 石綿分析機関一覧	11

1.見解書について（石綿に関する情報のご案内）

ケイミュー(株)は、H15年12月に、(株)クボタと松下電工(株)（現パナソニック電工(株)）の住宅外装建材事業部門を事業承継し設立いたしました。（H22年10月1日付で“クボタ松下電工外装(株)”から“ケイミュー(株)”に社名を変更いたしました。）

設立以降、当社の製造販売する建材製品には、石綿に係る法規制の対象となる商品はありませんが、当社の設立以前に親会社である(株)クボタと松下電工(株)において石綿含有建材を製造販売致しておりましたので事業承継致しました弊社におきまして、それらの石綿含有建材の一覧及びその環境に対する影響、並びにメンテナンスおよび解体工事における取り扱い等についてご案内させていただきます。

2.当社設立以前に(株)クボタと松下電工(株)（現パナソニック電工(株)）において製造販売していた建材一覧（法規制を受ける商品、受けない商品）

2-1 屋根材

2-1-1 法規制を受ける屋根材

（年）は製造期間、〔％〕は石綿含有率

クボタ	松下電工（現パナソニック電工）
【カラーベスト（900シリーズ）】 コロニアル（S36～S61）〔10～25％〕 カラーベスト・スレート（S48～S51）〔20～25％〕 ウエスタンシェーク（S48～S51）〔20～25％〕 ニューコロニアル（S54～H13）〔10～15％〕 かわら27（S50～S63）〔15～20％〕 F-800（S50～S52）〔10～25％〕 ランバート（S63～H6）〔10～15％〕 ニューランバート（H7～H13）〔10～15％〕 ミュータス（S63～H6）〔10～15％〕 ニューミュータス（H7～H13）〔10～15％〕 セイバリー（H8～H13）〔10％〕 スベリアル（H8～H13）〔10％〕 アスコット（H6～H13）〔10～15％〕 グリシェイド（H8～H13）〔10～15％〕 ザルフ（H9～H13.11）〔0.1～1％〕	【フルベスト（900シリーズ）】 フルベスト16（S46～S53）〔10～15％〕 フルベスト20（S63～H15） 〔S63～H4:10～15％、H5～H9:5～10％、H10～H15:5％以下〕 フルベスト・リード（H6～H12） 〔H6～H8:5～10％、H9～H12:5％以下〕 フルベスト・リードDX（H8～H12） 〔H8:5～10％、H9～H12:5％以下〕 フルベスト・リードⅡ（H7～H14） 〔H7～H8:5～10％、H9～H14:5％以下〕 フルベスト・リードストライプ（H7～H14） 〔H7～H8:5～10％、H9～H14:5％以下〕 アレナ・ウーノ（H11～H14）〔5％以下〕 アレナ・トレス（H11～H14）〔5％以下〕
【カラーベスト（600シリーズ）】 アーバニー（S57～H6） 〔S57～H1:10～15％、H2～H6:5～10％〕 ルネッサⅠ（H1～H13.11）〔0.1～1％〕 ジュネスⅠ（H3～H6）〔5～10％〕 ジュネスⅡ（H3～H6）〔5～10％〕 ルネッサⅡ（H4～H13.11）〔0.1～1％〕 ニューアーバニー（H6～H13.11）〔0.1～1％〕 ニュージュネス（H6～H13.11）〔0.1～1％〕 エボルバ（H6～H13.11）〔0.1～1％〕 グレイスノート（H6～H13.11）〔0.1～1％〕 アーバンウェーブ（H9～H13.11）〔0.1～1％〕	【フルベスト（600シリーズ）】 フルベスト24-05（S53～S57）〔10～15％〕 フルベスト24-10（S53～S62）〔10～15％〕 フルベストエース（S54～S62）〔10～15％〕 フルベスト24-10エース（S56～S62）〔5～10％〕 ニューフルベスト24（S62～H11） 〔S62～H5:10～15％、H6～H11:5～10％〕 ニューフルベスト24エース（S62～H6） 〔S62～H5:10～15％、H6:5～10％〕 ツインアート（S61～H3）〔10～15％〕 フルベストリード*24（H9～H11）〔10～15％〕 エバンナ（H1～H15） 〔H1～H4:10～15％、H5～H10:5～10％、H11～H15:5％以下〕 アルデージュ（H1～H15） 〔H1～H4:10～15％、H5～H10:5～10％、H11～H15:5％以下〕 アルデージュ・シンプル（H4～H15） 〔H4:10～15％、H5～H10:5～10％、H11～H15:5％以下〕
【同質役物】 ハイリッジ（S53～S63）〔10～15％〕 軒先同質役物（S63～H13）〔15％〕	

	【フルセラム】 玄晶Ⅰ（S61～H13） [S61～H3:10～15%、H4:5～10%、H5～H13:5%以下] 玄晶Ⅱ（S61～H13） [S61～H3:10～15%、H4:5～10%、H5～H13:5%以下] ヒシ（S61～H13） [S61～H3:10～15%、H4:5～10%、H5～H13:5%以下] うろこ（S61～H13） [S61～H3:10～15%、H4:5～10%、H5～H13:5%以下] 【波形スレート】 ニューウェーブ（S58～H15）[10～15%] ニューウェーブⅡ（H6～H15）[5～10%] 【ワンダシリーズ】 ワンダ・ストーン（H13～H14.10）[0.1～1%] 【ニューウェーブ用同質役物】（S58～H15） 面戸瓦、急勾配用棟瓦、片流れ用棟瓦[10～15%] 【ニューウェーブⅡ用同質役物】（H6～H15） 和風用面戸瓦、半瓦[5～10%] 洋風用面戸瓦、半瓦、片流れ用棟瓦[5～10%]
--	---

2-1-2 法規制を受けない屋根材

（年・月）は製造期間

クボタ	松下電工（現パナソニック電工）
【カラーベスト（900シリーズ）】 コロニアルNEO（H13.4～） セイバリーNEO（H13.12～） セイバリーグランデ（H15～） スペリアルNEO（H13.12～） スペリアルグランデ（H13.12～） ミュータスNEO（H13.12～H17.3） ザルフグラッサ（H13.12～H17.3） ニューザルフグラッサ（H16～） グリシェイドグラッサ（H16～） ブラウドグラッサ（H16～） レイシャスグラッサ（H16～） グリシェイドNEO（H13.9～） ザルフ（H13.12～H18.10） 【カラーベスト（600シリーズ）】 アーバニーグラッサ（H13.12～H17.11） グレイスノートグラッサ（H13.12～H17.11） 【天然スレート】 マイルストーン（S63～H15） 【コンクリート瓦】 洋瓦（S57～S58） パラマウント（S59～H9） ニューパラマウント（H10～H12） バラシェイク（H1～H9） ニューバラシェイク（H10～H12） パラフィールド（H10～H12） 【粘土瓦】 テラシード（H1～H16） テラシード・フラット（H10～H16）	【ピュアベスト（900シリーズ）】 レサス（H11～H18.9） レサス・ウーノ（レサスDX）（H13～H18.9） レサス・トレス（H15.3～H16.3） レサスTX（H14～H15.6） エコ・シンプル（H15～H18.9） エコ・ウーノ（レサスECO18）（H14～H18.9） シルバス（H13～H15.10） シルバスウーノ（H14～H15.10） シンフォニー（H12～H18.9） シンフォニーグランデ（シンフォニーDX）（H14～H18.9） 【ワンダシリーズ】 ワンダセラ（H10～H13） ワンダ・ストーン（H14.11～H18.9） ワンダ・ストーンⅡ（H15～H18.8） ワンダ・ナチュレ（H15～H18.8） ワンダ・ロイヤル（H15～H17.1） ストーンⅡグラッサ（H16～H18.8） 【ピュアベスト（600シリーズ）】 スカイピュア（H2～H6） 【天然スレート】 ザ・イーシー（H4～H9） 【粘土瓦】 テラバリエ（H1～H8） テラバリエ40（H9～H12） テラユーロ（H13～H16） 【ニューウェーブ、ニューウェーブⅡ用同質役物】 上記石綿含有品以外の役物

2-2 外壁材

2-2-1 法規制を受ける外壁材

(年)は製造期間、[%]は石綿含有率

クボタ	松下電工（現パナソニック電工）
カラーベストシングル（S35～S53）〔16～22%〕 カラーシート（S36～S51）〔16～22%〕 カラートップ（S38～S59）〔16～22%〕 KCパネル（S36～S48）〔16～22%〕 梨地シート（S40～S52）〔16～22%〕 不燃サイディング（S42～S52）〔5～10%〕 パーマトン（S46～H5）〔S46～S60:15%、S61～H5:5%〕 ロイヤルサイディング（S47～S51）〔15%〕 ストンヘンジ（S48～S51）〔20%〕 フィーチャーパネル（S48～S51）〔19.5%〕 カラリス（S48～S51）〔20%〕 アーマオン（S48～S51）〔19.5%〕 エンボスサイディング（S51～H5） 〔S51～S60:15%、S61～H5:5%〕 防火サイディング〔軒天用途を含む〕（S52～H7.6） 〔S52～S56:8%、S57～60:5%、S61～S62:3%、 S63～H7.6:2%〕 レックストン（S53～S59）〔15%〕 カラーベストニューシングル（S53～H1）〔16～22%〕 セラシティー（S60～H4）〔S60:7%、S61～H4:5%〕 セラロック60mm（S62～H4）〔S62～H4:5%〕 セラディール（S62～H4）〔S62～H4:5%〕 上記製品の同質役物	ネオロック22.5mm及び同質役物（S63～H5）〔5%〕 ネオロック22mm及び同質役物（H2～H5）〔5%〕 ネオロック20mm及び同質役物（S63～H5）〔5%〕 DMサイディング及び同質役物（S62～H8）〔5%〕 ベルマティエ25mm及び同質役物（S63～H5）〔5%〕 マルチサイディング横張りタイプのうち「RV*****」 の品番のもの及び同質役物（S61～H12）〔4%〕 マルチサイディング縦張りタイプのうち「RV*****」 の品番のもの及び同質役物（S61～H12）〔4%〕
【付属品（買入部材）】 同質出隅コーナー 〔HOA, HOB, HOC, HOD〕（S59～H7）〔15%〕 HOE〔押出同質材〕（S60～H7）〔15%〕 アクセント同質出隅〔AHR〕, 縦目地〔ATR〕, 土台水切〔ASR〕, 中間水切〔AYR〕（S60～H7）〔15%〕 幕板〔AMA, AMAW, AMB, AMBW〕, 額縁〔ARR, ARRW〕 （S61～H11）〔S60～H7:15%、H8～H11:5%〕 出隅〔AAH, AAHW〕, 付柱〔AAT, AATW〕, 幕板〔AAY, AAYW〕, 見切縁〔ARA, ARAW, ARB, ARBW〕 （H3～H11）〔H3～H7:15%、H8～H11:5%〕 同質出隅コーナー〔HOJ, HOP, HOH, HOI〕（S61～H15） 〔S61～H7:15%、H8～H15:5%〕 AMC52, ATC52, 出隅, 袖壁（H6～H14） 〔H6～H7:5%、H8～H14:1%〕 モール〔ARF, ARE, ARED, ARG, ARGD〕（H6～H14） 〔H6～H7:5%、H8～H14:1%〕 段差付幕板180 〔AMD**S, AMDD**S, AMD**NS, AMDD**NS〕 （H10～H14）〔1%〕	【付属品（買入部材）】 フラット同質出隅コーナー34・65・85（S61～H13）〔5%〕

2-2-2 法規制を受けない外壁材

(年・月)は製造期間

クボタ	松下電工（現パナソニック電工）
ストラミット（S43～S49） セラシティー（H4.10～） モックビルド（S63～H10） 防火サイディング（H7.7～H11） セラステート（H7～H11） エクセレージ（H11～） セラロック80mm（S62～H5） セラディール（H4.10～）	左記以外の外壁材

2-3 補足

2-3-1 法規制対象となる石綿含有商品について

平成18年9月1日より「労働安全衛生法施行令」および「石綿障害予防規則」の一部が改正され、これらの法令に基づく規制の対象となる商品（製品）の石綿含有率（重量比）が「1%を超えるもの」から「0.1%を超えるもの」に改められました。

なお、0.1%を超えて石綿を含有している商品については、「石綿障害予防規則」「廃棄物処理法」に基づき、非飛散性石綿含有建材としての解体、廃棄物処理を行うことが求められますが、セメント等で固化された非飛散性成形板である屋根材および外壁材は、通常使用されている状態では特に健康面への影響はありません。

2-3-2 「無石綿」の表示を行っていた商品の「法規制を受ける商品」への見直しについて

平成18年9月1日の法改正により規制対象に追加された商品は、法改正以前の公的機関による試験では石綿が検出されませんでしたので「無石綿」等の表示を行っていました。法改正に伴い石綿含有に係る定量解析方法の見直しが行われ、それまで検出できなかった1.0%以下についても分析可能となったため、「無石綿」等の表示を行っていた商品について再分析を行ったところ規制対象となる0.1%を超えるものが確認されましたので、第4版よりそれらの商品を規制対象商品に追加しました。

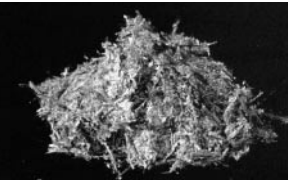
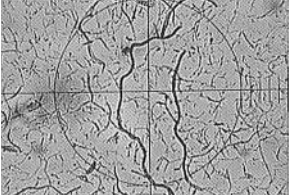
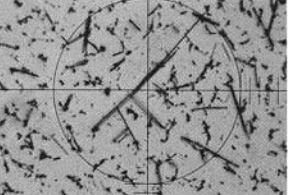
2-3-3 「㊟」マークについて

日本石綿協会の自主基準により、H1年より石綿含有率5%超のもの、H7年より同1%超のものについて「㊟」マークが適用されていました。(株)クボタ、(株)松下電工においてもその基準に従っていますが、「㊟」マークの無いものについては2.1～2.2で御確認ください。

3.石綿に関する基本知識

石綿とは、石が自然現象の力により綿状に変化したものであり、火山活動で火成岩の一種である超塩基性岩の地殻内マグマの裂け目に水が浸入し、非常に高い圧力のもとで熱水作用を受け、その裂け目に生成する繊維状結晶のことを指します。

3-1 石綿の種類

	白石綿(クリソタイル)	茶石綿(アモサイト)	青石綿(クロシドライト)
鉱物名(母岩)	蛇紋岩系	角閃石系	角閃石系
外 観			
顕微鏡写真	 (直径0.01～0.1μ)	 (同左)	 (同左)
用 途	石綿スレート、新生瓦 石綿高压管 石綿紙 ブレーキライニング	保温材(ケイ酸カルシウム板) 石綿保温板 石綿保温筒 防熱布団	耐酸用繊維品 耐酸用石綿高压管 耐酸用シートガasket 吹付け石綿
性 状	青、茶石綿より柔らかく、 分解しやすい	白石綿より硬く、針状で 分解しにくい	白石綿より硬く、針状で 分解しにくい
日本での規制	H16.10月 法的禁止	H7 法的禁止	H7 法的禁止
クボタ・松下電工 の建材での使用	過去使用(S35～H15)	使用していない	使用していない

外観写真出典:日本石綿協会「THE ASBESTOS」
顕微鏡写真出典:日本作業環境測定協会「室内環境等における石綿粉塵濃度測定方法」

3-2 石綿の健康に与える影響について

	部位	疾 病 名	潜伏期間
石綿曝露との関連が高い疾病	肺	石綿肺	10年～
	胸膜 腹膜 他	中皮腫	40年前後～
石綿だけでなく他の要因でも生じる疾病	肺	肺がん	30～40年
	胸腔	良性石綿胸水	12年～30年
	胸膜	びまん性胸膜肥厚	不明確(今後の知見収集必要)
		円形無気肺	

出典:[石綿による健康被害に係る医学的判断に関する考え方]報告
(石綿による健康被害に係る医学的判断に関する検討会)
詳細は、環境省ホームページ参照(<http://www.env.go.jp/chemi/report/h17-20.pdf>)

4.既設の石綿含有屋根材・外壁材の取扱いその他について

4-1 通常使用における経年劣化による石綿飛散について

(株)クボタでは、S62年に石綿含有商品の施工物件近隣の大気中石綿濃度を測定しました。

大気汚染防止法(および施行規則)では、石綿を取り扱う事業場の敷地境界線における大気中の石綿濃度の許容度を10本/Lとしています。当時の調査結果は、以下のとおり「0.51本/L」であり、これはこの許容限度を大幅に下回るものでした。

【調査内容】

- 調査実施日 S62.5.22～24
- 対象商品 カラーベストコロニアル S47.9 施工 (施工後15年経過)
- 場所 (株)クボタ小田原工場社宅周辺
- 測定 外部測定機関
- 調査結果 0.00051本/cc (0.51本/L)

さらに当社でも、外部測定機関に依頼し、現時点での石綿含有商品の施工物件近隣の大気中石綿濃度を測定しました。この結果は以下の通りで、許容限度を大幅に下回るものでした。

調査NO.	実施日	対象屋根材	施工	経過年数	場所(屋根直近)	調査結果
1	H17.8.4	ツインアート	S62年	18年	ケイミュー(株) 伊賀事業所食堂	0.50本/L
2	H17.8.8～10	コロニアル	S59年	21年	(株)クボタ 滋賀工場社宅	0.42本/L
3	H18.10.26～10.27	コロニアル	S48年	33年	ケイミュー(株) 小田原工場建屋	0.20本/L未満

また、東京都が実施した都内の石綿濃度調査結果(測定期間S60～H12)が、「東京都環境局公式サイト」(<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/air/faq/asbestos/index.html#Q5>)に掲載されています。

この期間、石綿含有建材の市場ストックは増加していますが、石綿濃度に増加は見られずまた、許容限度以下でありました。

このため、上記石綿含有品の通常使用においては、当該製品がセメントで固定されていることもあり、特に健康面への影響はありません。

【参考】地域別アスベストモニタリング結果の推移（環境庁大気保全局大気規制課）（単位：本／L）

地 域	地域区分	S60	S62	H1	H3	H5
バックグラウンドⅠ	①内陸山間地域	0.78	0.47	0.37	0.21	0.15
	②離島地域	0.09	0.31			
バックグラウンドⅡ	③住宅地域	1.16	0.78	0.47	0.49	0.18
	④商工業地域	1.15	1.10			
	⑤農業地域	0.52	0.46			
発生源周辺Ⅰ	⑥アスベスト製品製造事業所散在地域（注1）	0.83	1.91	0.34	0.46	0.26
	⑦廃棄物処分場等周辺	0.78	1.00			
発生源周辺Ⅱ	⑧アスベスト製品生産事業所周辺（注2）	5.35	2.89	2.07	1.32	0.62
	⑨蛇紋岩地域（注3）	2.53	2.16			
発生源周辺Ⅲ	⑩高速道路沿線	1.11	0.67	0.54	0.53	0.33
	⑪幹線道路沿線	1.00	0.96			

（注1）小規模なアスベスト製品製造事業所または小規模なその他の事業所が散在している地域。

（注2）大規模なアスベスト製品生産事業所周辺。（注3）碎石場周辺。

出典：日本石綿協会「THE ASBESTOS」

4-2 非通常使用における石綿含有商品の解体、廃棄、取り扱いについて

非通常使用（屋根・外壁以外としての使用）の石綿含有商品については、事業者の方は産業廃棄物（石綿含有産業廃棄物）としての処理を行ってください。又、非事業者の方は、廃棄方法について各市町村役場の環境部門にお問い合わせの上、適切な処分をお勧めします。

（使用例）

未使用保管品、駐車場等での水はけ用敷石、花壇の囲い 等

5.アスベスト成形板の解体工事及び廃棄処分について

別掲“石綿含有成形板の解体等の作業（レベル3）における石綿粉塵暴露防止対策”をご参照ください。

【参考データ】

（株）クボタは、昭和63年に横浜市で行われたカラーベストの解体・施工作业にて石綿の飛散状況の測定を行いました。測定結果は以下の通りです。なお、測定は、外部機関にお願いしました。

- 調査実施日 S63.6.13～14
- 対象商品 屋根材の解体及び施工作业
- 場所 横浜市
- 調査結果

	単位	実 測 値		規 制 値
		解体作業（6月13日）	取付作業（6月14日）	
バックグラウンド	本/L	1.18	0.91	
敷地境界	本/L	2.02～2.93	0.95～1.93（1.35）	10
室内（2F 開窓）	本/L	2.86	2.32	10
作業場周辺	本/cc	0.0032～0.0044（0.0037）	0.0025～0.0090（0.0056）	2（H17/4より0.15）
個人暴露	本/cc	0.0062～0.0318（0.0168）	0.0043～0.0249（0.0122）	2（H17/4より0.15）
廃材の投げ積	本/cc	0.0072～0.0220		2（H17/4より0.15）

- min～max（算術平均値）
- 単位：本（石綿繊維数）、L（リットル）
- 解体作業はすべて手ばらし、乾燥状態でこなわれた

6.石綿に関する外部お問い合わせ先

6-1 行政の各種相談窓口（H17.7.15 厚生労働省労働基準局長 基発第07150002号による）

【石綿に関する健康管理手帳、健康診断、労災補償についてのお問い合わせ、ご相談】

都道府県労働局および各地の労働基準監督署

【石綿含有製品の代替化に関する相談窓口（従来から設置）】および

【事業者の方々からの石綿ばく露防止対策に関する相談】

中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター（TEL.03-3452-3068）

大阪労働衛生総合センター（TEL.06-6448-3784）

【事業者の方々からの建築物の解体作業等における石綿ばく露防止対策に関する相談】

建設業労働災害防止協会（TEL.03-3453-8201）

【産業保険関係者、石綿による健康被害をうけられた労働者及びその家族の方々からの健康に関するご相談】

独立行政法人労働者健康福祉機構 産業保健推進センター

（最寄の産業保健推進センターは<http://www.rofuku.go.jp/sanpo/index.html>をご参照ください）

【石綿ばく露歴のある方、その家族の方々、開業医等からの診断・治療、健康診断に関するご相談】

独立行政法人労働者健康福祉機構 労災病院（対応可能な労災病院は下表のとおりです）

石綿の特殊検診、診断、治療が可能な労災病院

病 院 名	所 在 地	電話番号
北海道中央労災病院	〒068-0004 岩見沢市4条東16丁目5番地	TEL.(0126) 22-1300
釧路労災病院	〒085-8533 北海道釧路市中園町13番23号	TEL.(0154) 22-7191
青森労災病院	〒031-8551 青森県八戸市白銀町南ヶ丘1	TEL.(0178) 33-1551
東北労災病院	〒981-8563 仙台市青葉区台原4-3-21	TEL.(022) 275-1111
福島労災病院	〒973-8403 いわき市内郷綴町沼尻3番地	TEL.(0246) 26-1111
鹿島労災病院	〒314-0343 茨城県神栖市土合本町1-9108-2	TEL.(0479) 48-4111
千葉労災病院	〒290-0003 市原市辰巳台東2-16	TEL.(0436) 74-1111
東京労災病院	〒143-0013 東京都大田区大森南4-13-21	TEL.(03) 3742-7301
関東労災病院	〒211-8510 川崎市中原区木月住吉町1番1号	TEL.(044) 411-3131
横浜労災病院	〒222-0036 横浜市港北区小机町3211	TEL.(045) 474-8111
新潟労災病院	〒942-8502 上越市東雲町1-7-12	TEL.(025) 543-3123
富山労災病院	〒937-0042 魚津市六郎丸992	TEL.(0765) 22-1280
浜松労災病院	〒430-8525 浜松市東区将監町25	TEL.(053) 462-1211
中部労災病院	〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6	TEL.(052) 652-5511
旭労災病院	〒488-8585 尾張旭市平子町北61番地	TEL.(0561) 54-3131
関西労災病院	〒660-8511 尼崎市稲葉荘3-1-69	TEL.(06) 6416-1221
神戸労災病院	〒651-0053 神戸市中央区籠池通4-1-23	TEL.(078) 231-5901
和歌山労災病院	〒640-8505 和歌山市木ノ本93-1	TEL.(073) 451-3181
山陰労災病院	〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田1-8-1	TEL.(0859) 33-8181
岡山労災病院	〒702-8055 岡山市築港緑町1-10-25	TEL.(086) 262-0131
中国労災病院	〒737-0193 呉市広多賀谷1-5-1	TEL.(0823) 72-7171
山口労災病院	〒756-0095 山口県山陽小野田市大字小野田1315-4	TEL.(0836) 83-2881
香川労災病院	〒763-8502 丸亀市城東町3-3-1	TEL.(0877) 23-3111
愛媛労災病院	〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町13-27	TEL.(0897) 33-6191
九州労災病院	〒800-0296 北九州市小倉南区葛原高松1-3-1	TEL.(093) 471-1121
長崎労災病院	〒857-0134 佐世保市瀬戸越2-12-5	TEL.(0956) 49-2191
熊本労災病院	〒866-0965 八代市竹原町1670	TEL.(0965) 33-4151

石綿の特殊検診が可能な労災病院

病 院 名	所 在 地	電話番号
燕労災病院	〒959-1228 燕市大字佐渡633	TEL.(0256)64-5111
大阪労災病院	〒591-8025 堺市長曾根町1179-3	TEL.(072)252-3561
九州労災病院門司メディカルセンター	〒801-8502 北九州市門司区東港町3番1号	TEL.(093)331-3461
吉備高原医療リハビリテーションセンター	〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川7511	TEL.(0866)56-7141

6-2 石綿分析機関一覧

石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関のリストが(社)日本作業環境測定協会のホームページに掲載されております。詳細は各分析機関にお問合せください。

(社)日本作業環境測定協会のホームページ
<http://www.jawe.or.jp/index.html>